

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271  
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



## 超音波に対する検査科での取組み —検査内容と注意点も合わせて—

横浜新緑総合病院 検査科 科長 平野 春美

新緑ニュース9月号の部署紹介よりも今回はもう少し掘り下げてお伝えしていきます。検査科には超音波検査を行う技師が14名おり、内10名が超音波検査士の資格を保有しています。

### 超音波検査士とは

日本超音波医学会が認定する資格制度です。資格取得には日本超音波検査学会に3年以上所属、3年以上の実務経験があって受験資格を得る事ができます。各専門分野の症例編と機器原理や音響工学に関する基礎編に合格して超音波検査士資格を得る事ができます。

### 各専門分野とは

領域ごとに区分されています。消化器・体表臓器・心臓・血管・泌尿器・婦人科・健診の7領域があり分野ごとに臓器範囲が決まっており、各臓器の疾患を理解することが必要です。

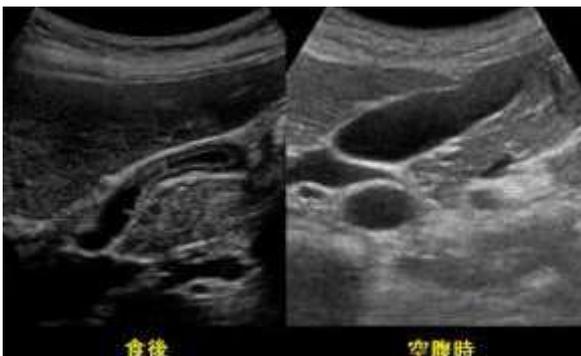
### 当院で多く行われている超音波検査とは

#### ①腹部領域 (腹部一般・泌尿器領域) 所要時間20分

腹部一般：(消化器領域超音波検査士 8名)

肝臓・膵臓・胆嚢・総胆管・腎臓・脾臓・膀胱・生殖器(前立腺・子宮・卵巣)を観察します。

【注意点】 食事により胆嚢はしぼんでしまい中の評価ができず、膵臓は胃の中の食べ物により隠れてしまうため、検査前の食事は摂らないようお願いをしています。

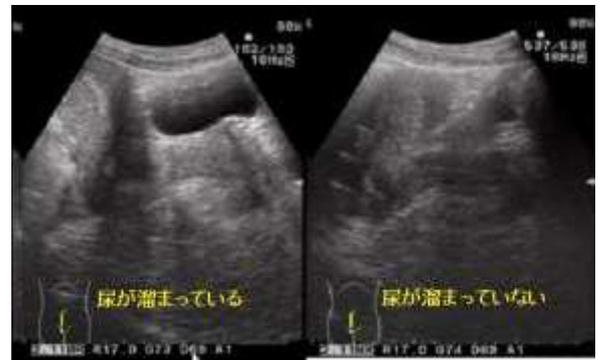


食後・食前の胆嚢

泌尿器領域：(泌尿器領域超音波検査士 4名)  
膀胱・腎臓・生殖器(前立腺・子宮・卵巣)を観察し

ます。特に泌尿器科からは残尿測定を依頼される事が多い尿が沢山溜まった状態の膀胱で中に腫瘍や結石等が無いかを観察した後、排尿し残尿量を計測します。

【注意点】 尿を溜めて検査します。



尿溜め

#### ②心臓領域 所要時間20~30分

(循環器領域超音波検査士 4名)

心臓の4つの弁(大動脈弁・僧帽弁・三尖弁・肺動脈弁)の動きや逆流、大動脈・肺動脈・下大静脈などの血管の大きさや血液の流れ、左房・左室・右房・右室の動きや大きさ等を観察します。

【注意点】 肺の中の空気により心臓の描出が困難になるため横向きに寝ていただいたりと身体の向きを変えながら検査します。

#### ③血管領域 所要時間20~60分 \*検査項目による

頸動脈・下肢動静脈・上肢動静脈など血管の状態や血栓が無いかな等を観察します。

【注意点】 頸動脈では血管が見えやすいよう首を伸ばしていただき検査します。

#### ④体表領域 所要時間分 20分

(体表臓器領域超音波検査士 9名)

乳腺・甲状腺・など腫瘍の有無の評価(特に注意事項はありません)

#### ⑤健診領域 (健診領域超音波検査士5名)

### 当院検査科での取組み

外来・入院・健診センターにて検査から所見入力まで技師が行っています。

予約の患者さまだけでなく、当日の検査依頼も実施しており待ち時間短縮に向けてアナウンスや掲示物の工夫を行っています。安心して検査を受けていただけるよう定期的な評価内容の見直しや検査手順書の改正、検査技術の向上のための教育、環境の整備、患者さまへの声掛けの

工夫について技師間で話し合い、より良い検査体制ができるようにしています。安心して検査を受けていただけるよう今後も努力してまいります。

検査内容などご不明な点がございましたらお気軽にお声かけください。



## 部門紹介 2022 | 薬剤部

薬剤部 科長 関口 信香

薬剤部は、薬剤師15名と事務員2名で構成され、24時間体制で勤務しています。日々、医薬品が「安心・安全」に使用できるよう、適切な医薬品管理と適正使用に取り組んでいます。

年齢や体格、代謝機能（腎機能、肝機能）など、病状以外にも使用する医薬品の特徴によって注意事項は様々です。使用する方にあった医薬品が選択されているか、適切な用法用量か、食事や他剤との影響は大丈夫かなどを確認してから提供しています。また、注射薬の中には調製する際に注意が必要なものがあり、高カロリー輸液はクリーンベンチ、

抗がん剤注射薬は安全キャビネットといった安全で清潔な環境を保てる装置下で、薬剤師が調製を行っています。あらかじめ薬剤師が確認することで、「安心・安全な薬物療法の提供」となるよう努めています。

薬剤師は、入院患者さまを中心に処方されているお薬の説明を行っており、患者さまが安心できるよう気持ちに寄り添いながら、わかりやすい説明を心掛けています。

なんとなく継続して服用しているお薬、効果が感じられず自己判断でやめてしまったお薬、何故かたくさん余っているお薬など、お薬に関して困っていることがありましたら遠慮なくお声かけください。



## 第13回消化器センター症例報告会

11月17日に「第13回消化器センター症例報告会」を3年ぶりに開催しました。

松前院長、齊藤消化器センター長を始め、計10名の消化器センター医師と近隣クリニックの医師14名が参加されました。今回はご紹介いただいた14名の患者さまの診断と治療経過をご報告させていただき、病院とクリニックの先生方と情報共有することで双方の理解と信頼を深めることができました。



## 年末年始（12/30～1/3）の診療体制

12月29日（木）	通常診療
12月30日（金）～ 1月3日（火）休診	
1月4日（水）	通常診療

- ◇ 年末年始も2次救急病院として、24時間体制で「内科・外科系・脳神経外科」の救急診療を行っております。
- ◇ 急病で受診を希望される場合は、必ずお電話でお問い合わせの上、ご来院ください。TEL 045-984-2400（代表）
- ◇ 薬の長期投与は原則できません。尚、疾患・症状によってはお受けできない場合もございますのでご了承ください。



2022年11月より、Twitterをはじめました。



QRコード

フォローをお願いします。



医療法人社団 三喜会

横浜新緑総合病院